

最新版バージョンアップ設置調整料 特価キャンペーンのご案内

拝啓、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、XMF バージョン5.1以下の保守サポート終了までの間にバージョンアップ実施していただいたお客様に対して、設置費用を半額にするキャンペーンを実施いたします。ぜひこの機会に最新版へのバージョンアップをお願いします。

敬具

記

1. キャンペーン内容

保守未加入のお客様を対象に、バージョンアップ時の設置費用を通常費用の半額にて実施させていただきます。

2. キャンペーン条件

条件1. 2018年1月時点でXMF保守未加入であること

条件2. XMF バリュースタックまたはXMF バリュースタックライト(※)2年契約を結ばせて頂くこと

※XMF バリュースタックとは従来の保守メニューに新バージョンへの無償バージョンアップやオンサイト保守などのメニューを強化し、皆様のXMF運用をより強力にバックアップする保守です。

3. キャンペーン期間

2018年5月17日(木)ご発注分まで(詳細は当社営業または販売店にご確認願います。)

<参考：バージョンアップ費用例>

詳細見積もりが必要な場合は必ず当社または販売店にお問い合わせください。

例1. XMF Complete5.1から最新版へのバージョンアップの場合

通常費用	キャンペーン適用時
合計：2,560,000円 (VerUP費：2,200,000円+設置費：360,000円)	合計：480,000円※ (VerUP費：300,000円+設置費：180,000円)

※XMF バリュースタック 700,000円/年またはバリュースタックライト 600,000円/年の2年加入が条件です。

例2. XMF Processor4.1から最新版へのバージョンアップの場合

通常費用	キャンペーン適用時
合計：1,735,000円 (VerUP費：1,375,000円+設置費：360,000円)	合計：340,000円※ (VerUP費：160,000円+設置費：180,000円)

※XMF バリュースタック 340,000円/年の2年加入が条件です。

上記例には、以下は含まれていません。見積もりご提示時に、必要に応じてご提案させていただきます。

- ①ハードウェア更新が必要な場合のハードウェア費用
- ②データ移行が発生した場合のデータ移行費用

以上

XMF バリュースタックとは

XMF RIP で、Java / adobe などのアップデートが実施された場合、出力を安定的に行うためには、それに対応した最新バージョンにアップすることが必要となってきます。

「XMF バリュースタック」とは、最新バージョンがリリースされましたら、改めて商品をご購入することなく最新バージョンへアップできる契約です。従来からのソフトサポート内容+リモートメンテナンスによるサポートも含まれています。

1. XMF バリュースタックでカバーするサポート内容比較

(キャンペーン適用は、太枠内のサポートメニュー加入が条件です。)

	項目	バリュースタック	バリュースタック ライト	バリュースタック エントリー (旧保守パック)	保守 未加入	対応内容
1	ヘルプデスク	○	○	○	有償	電話による使い方問合せ
2	サポートタウン閲覧	○	○	○	×	XMF 技術情報掲載サイト閲覧
3	リモートメンテ トレーニング	○	○	○	有償	リモートによる使い方問合せおよび操作 フォロー
4	不具合データ検証・報告	○	○	○	有償	不具合発生データの検証作業
5	バージョンアップ	○	○	有償	有償	最新環境に対応したバージョンアップ (1, 2回/年程度実施)
6	設置・オンサイトトレ ニング	○	○	有償	有償	最新バージョンへの設置、オンサイトトレ ニングの実施
7	ソフトウェア・オンサイ ト対応	○	有償	有償	有償	お客様先訪問によるサポート (年2回)

※保守未加入先へのサポートは最終販売から3年以内のバージョンを対象とします。

2. これまでのバージョンアップ経緯

XMF の過去バージョンアップ経緯を以下に記載します。今後もメジャーバージョンアップ・マイナーバージョンアップをそれぞれ1年に1度程度で予定しています。

年度	月	Ver.	内容
2008	12	V2.0	APPE2 を搭載でブルー運用対応、バージョンアップ機能追加
2009	12	V2.5	XMF Remote 対応、AdobePDFLibrary9 対応、AdobeCS4、PitStop8 対応
2010	8	V3.0	Finished PDF/X 処理、AdobeCS5、Win7、MacOS10.6 対応
2011	9	V4.0	APPE2.5 を搭載、JDF1.3&1.4 対応、XMF Smart をラインアップ
2012	5	V4.1	Acrobat10 対応、230~400 線対応、調子加減調整、面付け機能操作性向上
	12	V5.1	XMF GUI 刷新、DP とのハイブリッド運用 PDF 出力強化、MacOS10.8 対応
2013	10	V5.5	APPE2.6 を搭載、業界初 Adobe Mercury RIP 搭載 (JetPress 出力)
2014	7	V6.0	大量データ対応、面付け編集機能改善 AdobeCC 対応
	11	V6.1	Adobe Mercury RIP を GTP/Proof 出力にも拡張 AdobeCC2014 対応
2015	11	V6.2	大量ジョブ対応、MIS との JDF による連携強化 AdobeCC2015 対応
2016	10	V6.5	PDFLib15 搭載 Win10、MacOS10.11 対応 AdobeCC2016 対応
2017	7	V6.6	APPE4.6 を搭載 MacOS10.12 対応 AdobeCC2017 対応

上記以外にも、3~4 カ月に一度程度の割合で修正パッチリリースをリリースしています。